

特別番組

さっちゃんは、ね “ハンセン病”のいま

全国の国立ハンセン病療養所の入所者は600人余りまで減り、
平均年齢は90歳に迫っています。

差別を次世代に引き継がないため、

苦難の体験を語り継ぐことがまさに今、求められています。

岡山県の療養所で暮らす三重県出身の幸子さん（さっちゃん）と、
都内の療養所で自治会長を務める山岡さんにスポットをあて、
療養所園長のコメントも交えて、差別なき社会への方策を探ります。

三重県が実施するハンセン病問題啓発事業の一環で、
県民も構想に携わった企画。



令和8年

1月25日(日)

世界ハンセン病の日

夜9時～9時55分放送

YouTubeでも後日配信予定



語り **武田 真一**
(フリーアナウンサー)

三重テレビ放送